

令和8年度環境ふくい推進協議会 総会、環境活動事例報告会 次第

日時：令和8年4月20日（月）

14時00分～15時30分

会場：福井県県民ホール（アオッサ8階）

○総 会

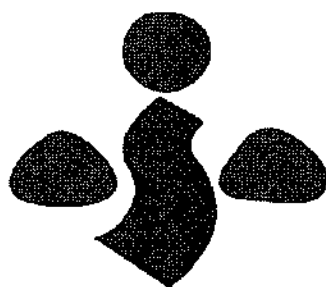
- (1) 会長挨拶
- (2) 福井県エネルギー環境部長挨拶
- (3) 環境ふくい推進協議会会長表彰式
- (4) 議 事
 - ・第1号議案 令和7年度事業報告について
 - ・第2号議案 令和7年度収支決算報告について
会計監査報告
 - ・第3号議案 役員改選について
 - ・第4号議案 令和8年度事業計画（案）について
 - ・第5号議案 令和8年度収支予算（案）について

○環境活動事例報告会

令和7年度「環境ふくい未来創造事業」助成者3団体の活動報告【動画】

- ・福井県キャンプ協会（大野市）
- ・一般社団法人サトツナギ（福井市）
- ・一般社団法人SwitchSwitch（若狭町）

令和8年度 環境ふくい推進協議会 総会



環境ふくい推進協議会

協議会の目的

協議会は、福井県内の環境保全活動にかかる多くの個人、事業者、各種団体、行政機関等の知恵と行動力を結集し、県民が一体となって進める環境保全に関する県民運動を実践することを目的とする。

会員数（令和8年4月1日）現在

| | | | |
|----|-------|----|-------|
| 個人 | 942人 | 企業 | 207社 |
| 団体 | 125団体 | 行政 | 18自治体 |

令和8年度環境ふくい推進協議会会長表彰 受賞者一覧

環境ふくい推進協議会では、環境保全活動のより一層の推進を図ることを目的として、地道に環境保全活動に努められ、その活動が賞賛に値する個人・団体・学校・企業を表彰しております。令和8年度の受賞者は次のとおりです。

■個人の部（2名）

| 氏名（市町） | 表彰対象活動 | 功績概要 |
|------------|--------|--|
| 中村 達雄（福井市） | 環境美化 | 自治会長在任時に老朽化した月見公園の再生に取り組み、退任後も管理人として清掃や整備、市との連携を続け、地域の憩いの場づくりに貢献しています。 |
| 岩崎 茂雄（福井市） | 環境美化 | 平成27年から宮前公園で通年清掃を続け、環境改善により住民や園児が利用しやすい公園となりました。さらに、周知を通じて地域連携と管理意識向上に寄与しています。 |

■団体の部（5団体）

| 団体名（市町） | 表彰対象活動 | 功績概要 |
|-------------------------|-------------------------------|--|
| 狐川流域まちづくり協議会（福井市） | 自然環境保全 環境教育 環境美化 ほか | 平成15年に協議会を設立し、狐川の環境改善とホテル再生を進めています。清掃や粗大ごみ撤去、自然共生型の護岸工法の陳情、小中学校への出前授業や観察会を行い、地域の環境教育と啓発に取り組んでいます。 |
| 次郎丸町環境整備委員会（福井市） | 自然環境保全 環境教育 環境美化 | 「岡の泉」を守るため委員会を発足し、清掃や土砂除去で水質を維持しています。地元小学校と連携した環境学習や、酒造会社と協力した湧水を使った酒造りにも取り組み、地域の自然と文化の継承に貢献しています。 |
| えちぜん環境楽（越前市） | 環境教育 | 平成17年に発足し、環境を楽しく学ぶ講座や里山での森づくりに取り組んでいます。また環境イベント「アースデイえちぜん」では長年中心的役割を担い、市内で環境教育と啓発活動を続けています。 |
| 「小さな親切」運動 越前町支部（越前町） | 自然環境保全 水・大気環境保全 環境教育 ほか | 地域で清掃や草刈り、花いっぱい運動を行い環境美化に努めています。さらに毎年11月にはボランティア団体と越前町の海岸清掃を実施し、水質保全と自然環境の保護に取り組んでいます。 |
| 海もぐら（若狭町） | 自然環境保全 環境教育 環境美化 | 若狭町の兼持り漁師の有志で構成され、水産資源の保護と再生に取り組み、ムラサキウニ駆除や藻場育成、学校給食への提供、漂着ごみ回収、SDGs交流など幅広い活動で地域に貢献しています。 |

■学校の部（3校）

| 学校名（市町） | 表彰対象活動 | 功績概要 |
|--------------------------------------|-----------------------------|---|
| 学校法人 大原学園（福井市） | 環境美化 | 年間を通して学生と教員が福井駅周辺などでごみ拾いを行っています。活動は学生の環境美化意識の向上にもつながっています。 |
| 福井県立坂井高等学校（坂井市） | 自然環境保全 | 平成26年から絶滅危惧植物の保全に取り組み、域外保全整備や苗育成を進めています。SDGs活動も積極的に発信し、生徒を中心に地域と協働して継続的に保全活動を行っています。 |
| 福井県立若狭高等学校 海洋科学科 Oceanプロジェクト（小浜市） | 自然環境保全 循環社会推進 環境教育 ほか | 高校生の提案で始まった海洋プラ回収・再利用プロジェクトで、地元企業と協働し再生等を商品化。啓発イベント、学校との連携を進め、創造的な取組で持続可能な活動を展開しています。 |

■企業の部（1社）

| 企業名（市町） | 表彰対象活動 | 功績概要 |
|--------------------------|--------|---|
| 日本たばこ産業株式会社 福井支社（福井市） | 環境美化 | 環境美化運動として清掃活動を継続し、県内イベントとの連携した清掃活動や福井駅前でも月1回のごみ拾いを実施しています。官民が協力して地域の美化と環境意識の向上に貢献しています。 |

I 環境保全活動促進協働事業

1 協議会会長表彰

◆個人2、団体5、学校1、企業1 を表彰（敬称略）

- ・個人：黒川英雄、高橋健二
- ・団体：西藤島庭友会、ふくい市民共同発電所を作る会、「小さな親切」運動 敦賀支部、万葉リサイクル友の会、坂井市赤十字奉仕団 坂井分団
- ・学校：小浜市加斗みどりの少年団(小浜市加斗小学校)
- ・企業：株式会社田んぼの天使



2 環境セミナー等開催事業

○会員向けに環境等について学ぶ講演やセミナーをはじめ、先進的取組を行っている企業の見学会、環境団体の持続化・ビジネス化応援のための先進企業・団体の事例紹介、学習会等を開催する。

- ◆環境ふくい未来創造事業助成団体へのアドバイスを実施(随時)
- ◆環境セミナー等の開催
 講師：環境省 水・大気環境局 海洋環境課
 海洋プラスチック汚染対策室長 中山 直樹 氏
 日時：令和8年1月15日(木)14時～16時、49名参加
 会場：福井駅前「越乃バレー」
 ※ニーズ調査のため会員向けアンケートを実施(10/2～10/17)



3 市町環境連携事業

○市町および市町の推薦する民間団体が企画する事業に対してその一部を助成することにより、県内一円の環境保全活動の活性化を図る。(福井市10万円、その他市町5万円)

- ◆10市町のうち7市町に助成
 - ・越前市：アースデイえちぜん2025(5月18日(日))
 - ・大野市：自然ふれあい探検隊事業(6月22日(日))
 - ・永平寺町：環境ポスター 図画作品コンクール(10月25日(土)・26日(日))
 - ・小浜市：木のおもちゃづくり(コウノトリマルシェ)(11月2日(日))
 - ・坂井市：九頭竜川河口部清掃活動(11月23日(日))
 - ・福井市：福井市環境フェア(11月24日(月・祝))
 - ・敦賀市：つるが環境フェア2025(11月29日(土))
 - ・南越前町：不法投棄防止啓発(1月5日(月)～3月25日(水))
 - ・あわら市：環境展(3月1日(日))
 - ・池田町：河川クリーン作戦(3月29日(日))



4 こどもエコクラブ活動促進事業

○こどもエコクラブへの登録を呼びかけるとともに、活動しているクラブへの支援を行い活動の活性化を図る。

- ◆助成内容 壁新聞作成および活動に係る経費の支援(1万円を上限とする) ※昨年度:3クラブへ助成
- ◆エコクラブ登録数:34クラブ、メンバー数:2,619人
- ◆令和7年度助成決定先
 - ・福井市森田中学校:もりたクリーンピック～地域の人とのごみ拾い活動～ (9月7日(日))
 - ・福井市六条小学校:六条防衛隊～不要になった子供服を海外難民に届ける～(9月18日(木))

5 SATOYAMA国内ネットワーク推進

○本県の里山里海湖における生物多様性の保全や利活用の活動を国内のネットワークを通じて県外へアピールする。

- ◆ふるさと環境フェア2025に出展し、里山に生息する生物の生体展示やクイズ等を通して、本県の生物多様性保全について普及を行った。
- ◆SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク 幹事会、総会 : 今年度の開催見送り

6 環境教育推進事業

○「ふくいっ子に体験してほしい50の自然体験」に関連する親子対象イベントや企業等と連携した環境イベント等を実施し、県下児童生徒およびその保護者に対する環境教育の推進を図る。

- ◆日 時 : 令和7年10月26日(日)9時～11時
- ◆内 容 : 森の散歩・親子でむしづくり ※雨天プログラムで実施
- ◆場 所 : ノーム自然環境教育事務所
- ◆参加者 : 小学生の親子 5組10名
- ◆運 営 : 合同会社ノーム自然環境教育事務所



7 プラスチックごみ削減推進事業

○プラスチックごみ削減に向けた取組事例の実践を促すため、「プラスチックごみ削減フォトコンテスト」を開催する。

- ◆募集期間:6月1日(日)～8月31日(日)
- ◆募集作品:以下のうちいずれか
 - ・プラスチックごみ削減につながる場面を撮影した写真
 - ・主催者が指定する塗り絵を撮影した写真
- ◆応募方法:当協議会のInstagram公式アカウントをフォローのうえ、以下のハッシュタグをつけてInstagramに投稿
#ふくいプラごみ削減2025 #デコ活ふくい
- ◆応募特典:抽選で30名様に、2,000円分のクオカードをプレゼント
- ◆応募件数:96件



8 ふくいの環境を守るための資格取得支援事業

○企業、団体会員が環境保全に関する資格を取得する際の必要経費を補助する。(1団体の上限5万円)

- ◆申請状況 2企業10名に助成決定 (株式会社サンワコン、信越半導体株式会社)
うち3名に助成

9 カーボンニュートラル普及推進事業

○会員をはじめ広く一般を対象にカーボンニュートラルカードゲーム体験会を提供する。
また、体験会に参加した会員がカードゲームファシリテーター資格を取得する際の費用を補助する。

- ◆カードゲーム体験会
【日時】令和7年12月16日(火)14時～16時半
【会場】市民プラザたけふ 多目的室1(アルプラザ武生3階)
【参加者】18名



- ◆資格取得にかかる費用の助成(2分の1) 申請者なし

※カーボンニュートラル:二酸化炭素などの温室効果ガスの「排出量」から植林や森林管理等による「吸収量」を差し引いて、実質的にゼロにすること。

II 普及広報事業

1 情報誌発行事業

- ◆「みんなのかんきょう」を協議会会員、小・中・高等学校等に配布する
 - ・3月17日(火)に「みんなのかんきょう第78号(特集:環境フェア2025)」を発行

2 ホームページ等による普及広報

- ◆ホームページやFacebookを活用し、お知らせやイベント情報を随時発信
 - 今年度から新たにInstagramアカウントを開設し、若い世代に向けた発信を強化

- ・ホームページ累計閲覧数 35,999件(3月末時点) ※2月末時点 35,397件
 - ・Facebook投稿回数 72回(3月末時点)
 - ・Instagram投稿回数 74回(3月末時点)
- ※Instagramアカウント「@kan_kyou_291」



3 メールマガジンの配信による普及広報

- ◆「イベントお知らせ編」 24回【毎月第2、4金曜日】
- ◆「法令編」 15回【随時】
- ◆「特別号」 3回【随時】※環境フェア、環境教育推進事業、資格取得支援事業周知



4 「ふくいっ子に体験してほしい50の自然体験」普及広報

○ふくいの子どもたちに体験させたい50の自然体験項目についてのガイドブック普及を図る

- ◆今年度からはデータによる配布に切り替え、
県内の小学1年生から6年生まで配布対象を広げる
- ◆6月9日(月)に県内各教育委員会宛て依頼済



50の自然体験



ガイドマップ



5 各市町環境フェアにおける普及広報

○県内で開催される各市町の環境フェアにブース等を出展し、環境について県民に考えてもらう機会を提供するとともに、協議会の周知を図る。

- ◆実施状況
 - ・5月18日(日) アースデイ越前2025(越前市)
 - ・6月7日(土) おおの環境フェア2025(大野市)
 - ・6月15日(日) さばえ環境フェア2025(鯖江市)
 - ・9月27日(土) ふるさと環境フェア2025(福井県)
 - ・11月24日(月) 福井市環境フェア(福井市)
 - ・11月29日(土) つるが環境フェア(敦賀市)

- <出展内容>
 - ・デコ活ふくいのPR



Ⅲ 県補助事業

1 環境アドバイザー派遣事業

○学校や自治会等が開催する研修会へ講師を派遣 106件(講師 144人) ※3月末時点の申請状況

<派遣分野>

- ・自然体験：61件(79人)
- ・環境教室：45件(65人)

《参考》

令和6年度実績:97件(講師138人)



2 リペア・リユース推進事業

○壊れたものを修理して使う、いらなくなったものをほしい人に譲るなど、修理する文化、リサイクル文化の定着を目指した取組みを実施する。

◆修理ボランティアの人材育成

- ・洋服・ぬいぐるみお直し隊要請講座(事前予約制)
9月27日(土) 第1回 10:00~12:00、第2回 13:00~15:00(環境フェア内で開催)
参加人数:4人
- ・おもちゃの修理技術を習得する講座の開催
12月6日(土)13:30~16:00 市民プラザたけふ(越前市)にて開催
参加人数:8人

◆おもちゃ病院

- ・環境フェア内で開催

◆古本市

- ・古本市の開催(環境フェア内で開催)
- ・無人古本市の設置 ユーアイふくい、嚮陽会館



3 家庭の省エネ(デコ活)推進事業

○家庭部門のCO₂排出削減に向けて、省エネ行動に対するポイントの付与や自らの行動によるCO₂削減効果の見える化などを通じ、家庭でできる身近な省エネ活動に楽しく取り組む県民運動の輪を拡げていく。

◆県民運動を「デコ活ふくい」と題し、テレビや新聞、SNSなど、複数のメディアを通して普及啓発を実施

◆ふくecoアプリ運用(令和6年6月14日~)

- ・令和5年度に県で開発したスマートフォンアプリ「ふくeco」を活用し、デコ活ふくいの普及啓発を実施
- ・「ふくeco」では、情報発信やポイント付与、CO₂削減効果の見える化を行い、県民の省エネ行動の習慣化を図る。
- ・登録者数 10,942人(3月末時点) ※令和7年3月末時点:7,409人

※デコ活:二酸化炭素を減らす(Decarbonization)と環境にいいエコ(eco)を含む“デコ”に活動・生活を組み合わせた新しい言葉。

4 ふるさと環境フェア開催事業【隔年】

○「楽しく」「見て」「触れて」「体験」する環境イベントを通して、地球温暖化、循環社会の形成、生物多様性の保全等の環境問題や対策について学ぶ機会を県民へ提供し、環境意識の向上を図る

◆日時：令和7年9月27日(土) 9時30分～16時00分

◆会場：ハピテラス(メイン会場)、AOSSAアトリウム(サブ会場)

◆テーマ：未来へつなぐふくいの環(わ)

～「デコ活ふくい」で楽しくカーボンニュートラルな未来へ！～

◆来場者：約4,100名

◆ワーキンググループ開催

・第1回 令和7年3月5日、3月7日

・第2回 令和7年4月23日

・第3回 令和7年6月6日

・第4回 令和7年8月6日

※その他、メールによる意見徴収を複数回実施

◆委託業者：株式会社マインドアンドサウンドライフ



IV 特別会計

環境ふくい未来創造事業

○県民・事業者等から提供された資金により、福井県環境基本計画を推進する活動を行う団体へ補助金を交付する。

◆第1回育成支援部会(4月15日(火))において申請団体によるプレゼンテーションを実施

◆第2回育成支援部会(2月20日(金))において採択団体の事業報告を実施

◆令和7年度活動状況

- ・スタート応援枠(新しく事業を立ち上げる団体等に補助金を交付) 2団体(1団体取下げ)
- ・共働活動応援枠(新たに他団体と共働して活動する団体等に補助金を交付) 1団体

<スタート応援枠> ※上限20万円

| 採択団体名 代表者名・所在地 | 普段の活動内容 | 補助金を受けて行う活動の概要 | 補助金 (円) |
|--------------------------------------|--|--|------------|
| 福井県キャンプ協会 会長 水沢 利栄 大野市 | <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ指導者の養成及び認定 ・キャンプに関する講習会の開催 ・キャンプに関する調査・研究 ・キャンプに関する情報収集と提供 ・指導者派遣 | <p>【楽しいキャンプ教室 in 鯖江 ～初めてのファミリーキャンプ～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ体験(テント設置, 火おこし, 薪割り, 野外調理など) ・野外活動(ネイチャーゲーム, ハイキングなど) <p><実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/28, 29 キャンプ教室と星空・里山教室(鯖江青年の家) 24名 ・10/25, 26 キャンプ教室と木材・里山教室(鯖江青年の家) 34名 | 200,000円 |
| 一般社団法人サトツナギ 代表理事 三原 由里 福井市 | <ul style="list-style-type: none"> ・オーガニックマルシェの開催 ・上味見地域の自然観察会 ・竹材や木の炭等、周辺の山野で供給可能な材料を使用した物作り、ワークショップ ・不耕起無農薬水田(ピオトープ)における田んぼ作業体験および生き物観察 ・無農薬蕎麦栽培作業体験と収穫した蕎麦による蕎麦打ち会 | <p>【無農薬有機農法で多様性のある農地を作ろう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕地造成, 種蒔き及び生物観察会 ・シカネット設置及び生物観察会 ・草取り及び生物観察会 ・収穫及び生物観察会 ・調理 <p><実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/15 畝づくりとバードウォッチング(福井市手中町_以下同じ) 18名 ・6/22 種まきとシカネット設置 13名 ・7/27 草取りと生物観察 13名 ・9/28 収穫と生きもの講座 13名 ・10/25 大豆の収穫 8名 ・11/11 味噌作り体験会(味見小学校) 16名 | 90,000円 |

<共働活動応援枠> ※上限50万円

| 採択団体名 代表者名・所在地 | 普段の活動内容 | 補助金を受けて行う活動の概要 | 補助金 (円) |
|--|--|---|------------|
| 一般社団法人SwitchSwitch 代表理事 阪野真人 若狭町 | <ul style="list-style-type: none"> ・エコツーリズムの推進 伝統漁法体験やカヤックツアー 環境教育事業 ・食のプロデュース 年縞博物館併設cafe縞の運営 特産品の開発 ・まちづくり事業 地域課題解決のための事業化(空き家、未利用資源活用) | <p>【若狭湾自然体験推進ネットワーク及び、若狭エリアの森川里湖海を活用した新たな自然体験活動の構築事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共働事業者である若狭湾青少年自然の家、NPO法人森林楽校・森んこ等と共に、福井県環境教育ミーティングを開催 ・福井県環境教育ネットワークを設立 ・若狭湾エリアの自然を活かした自然体験連携事業 里山での意外と知らない収穫現場体験 三方五湖でテナガエビを捕まえよう 若狭湾SUP体験会 ・福井県環境教育フォーラムの開催 ・福井県SDGsパートナーへの登録 <p><実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/29 SUP体験(若狭湾青少年自然の家) 13名 ・7/12 福井県環境教育ネットワーク設立・フォーラムの開催(同上) 10名 ・7/27 テナガエビをつかまえよう(若狭町鳥浜) 14名 ・12/6 レモンの収穫体験(若狭町田井) 20名 ・12/14 福井県環境教育フォーラムの開催(さばえSDGs推進センター) 23名 | 336,000円 |

令和7年度 一般会計収支決算報告

収入の部

| 項目 | 予算現額 | 決算額 | 比較増減 |
|-----------|------------|------------|-----------|
| 会費 | 1,900,000 | 1,671,000 | △ 229,000 |
| (1) 個人会費 | 300,000 | 161,000 | △ 139,000 |
| (2) 事業者会費 | 1,600,000 | 1,510,000 | △ 90,000 |
| 負担金 | 3,400,000 | 3,400,000 | 0 |
| (1) 県 | 2,000,000 | 2,000,000 | 0 |
| (2) 市町 | 1,400,000 | 1,400,000 | 0 |
| 寄附金 | 0 | 100,000 | 100,000 |
| 諸収入 | 0 | 0 | 0 |
| 繰越金 | 1,663,036 | 1,663,036 | 0 |
| 補助金 | 36,266,000 | 36,431,648 | 165,648 |
| 計 | 43,229,036 | 43,265,684 | 36,648 |

支出の部

| 項目 | 予算現額 | 決算額 | 比較増減 |
|--------------------------|------------|------------|-------------|
| 運営費 | 700,000 | 471,124 | △ 228,876 |
| (1) 総会費 | 300,000 | 154,444 | △ 145,556 |
| (2) 諸会議費 | 150,000 | 110,005 | △ 39,995 |
| (3) 事務費 | 250,000 | 206,675 | △ 43,325 |
| 事業費 | 42,466,000 | 40,432,388 | △ 2,033,612 |
| I 環境保全活動促進協働事業費 | 3,550,000 | 1,966,368 | △ 1,583,632 |
| (1) 協議会会長表彰 | 200,000 | 138,458 | △ 61,542 |
| (2) 環境セミナー等開催事業 | 880,000 | 736,325 | △ 143,675 |
| (3) 市町環境連携事業 | 900,000 | 554,070 | △ 345,930 |
| (4) こどもエコクラブ活動促進事業 | 100,000 | 19,261 | △ 80,739 |
| (5) SATOYAMA国内ネットワーク推進 | 200,000 | 15,018 | △ 184,982 |
| (6) 環境教育推進事業 | 400,000 | 204,600 | △ 195,400 |
| (7) プラスチックごみ削減推進事業 | 300,000 | 240,800 | △ 59,200 |
| (8) ふくいの環境を守るための資格取得支援事業 | 250,000 | 25,730 | △ 224,270 |
| (9) カーボンニュートラル普及推進事業 | 320,000 | 32,106 | △ 287,894 |
| II 普及広報費 | 2,520,000 | 2,134,743 | △ 385,257 |
| III 県補助事業 | 36,396,000 | 36,331,277 | △ 64,723 |
| (1) 環境アドバイザー派遣事業 | 1,822,000 | 1,791,629 | △ 30,371 |
| (2) リペア・リユース推進事業 | 249,000 | 225,848 | △ 23,152 |
| (3) 家庭の省エネ推進事業 | 28,004,000 | 27,992,800 | △ 11,200 |
| (4) ふるさと環境フェア開催事業 | 6,321,000 | 6,321,000 | 0 |
| 繰出金 | 0 | 0 | 0 |
| 予備費 | 63,036 | 0 | △ 63,036 |
| 計 | 43,229,036 | 40,903,512 | △ 2,325,524 |

収入済額 43,265,684 円

支出済額 40,903,512 円

差引残額 2,362,172 円 (次年度繰越金)

令和7年度 特別会計収支決算報告

■環境ふくい未来創造事業特別会計

収入の部

(単位：円)

| 項目 | 予算現額 | 決算額 | 比較増減 | 摘要 |
|-----|-----------|-----------|-----------|-------------|
| 寄附金 | 250,000 | 68,486 | △ 181,514 | 福信、北電、古本市売上 |
| 繰越金 | 4,671,069 | 4,671,069 | 0 | |
| 諸収入 | 500 | 7,598 | 7,098 | 利息 |
| 計 | 4,921,569 | 4,747,153 | △ 174,416 | |

支出の部

(単位：円)

| 項目 | 予算現額 | 決算額 | 比較増減 | 摘要 |
|-------------|-----------|---------|-------------|---------------------------------|
| 環境ふくい未来創造事業 | 4,500,000 | 628,200 | △ 3,871,800 | スタート応援枠2件 共働活動応援枠1件 振込手数料 |
| 予備費 | 421,569 | 0 | △ 421,569 | |
| 計 | 4,921,569 | 628,200 | △ 4,293,369 | |

収入済額 4,747,153 円

支出済額 628,200 円

差引残額 4,118,953 円 (次年度繰越金)

会計監査報告

環境ふくい推進協議会規約第11条第4項の規定により、令和7年度の事業及び会計執行状況について監査しましたので、その結果を下記のとおり報じます。


令和8年4月16日

環境ふくい推進協議会
会長 吉田 真士 様

監 事

吉田 裕晃 

監 事

吉野 和宏 

記

1 監査した書類等

- (1) 令和7年度事業執行関係書類綴
- (2) 会計書類帳簿類等
 - (ア) 収入伺
 - (イ) 支出負担行為伺
 - (ウ) 支出命令決議書
 - (エ) 現金出納帳
 - (オ) 予算差引簿
 - (カ) 預金通帳
 - (キ) 金券（切手、収入印紙）

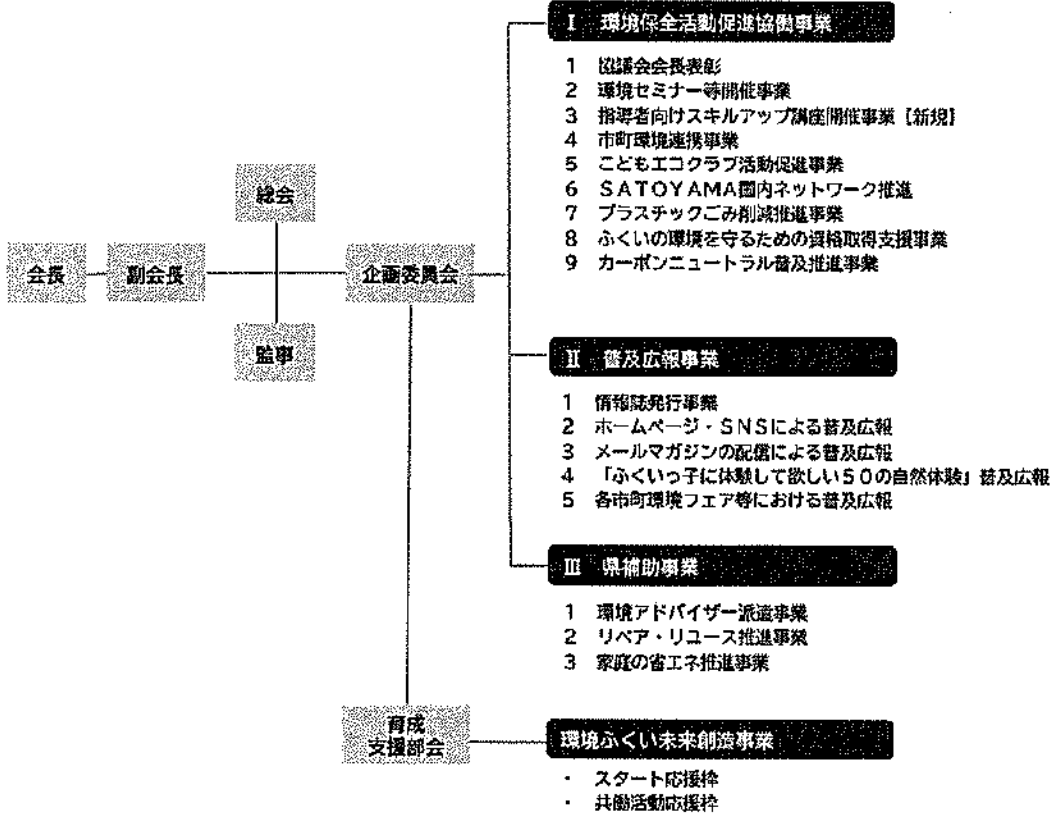
2 監査結果

上記諸帳簿について監査を行ったところ、事業の執行および会計経理は適正に処理されており、良好と認める。

役員改選について

令和8年度 事業計画 (案)

環境ふくい推進協議会事業体系図



I 環境保全活動促進協働事業

1 協議会会長表彰



200千円
[前年 200千円]

[内容] 環境保全活動のより一層の推進を図るため、地道に環境保全活動に努められた団体等について総会時に表彰を行う。

2 環境セミナー等開催事業



1,470千円
[前年 800千円]

[内容] 会員向けの環境等について学ぶ講演やセミナー、先進的取組を行っている企業の見学会、先進企業・団体の事例紹介や学習会等を開催する。(企業見学会とセミナー両方開催予定)

3 指導者向けスキルアップ講座開催事業【新規】 600千円



[内容] 環境アドバイザーおよび企業・団体の環境保全指導者向けにスキルアップ講座を開催する。指導者は、常に最新状況を把握し、正しい考え方によって活動を行う必要がある。

4 市町環境連携事業 900千円
[前年 900千円]



[内容] 市町および市町の推薦する民間団体が企画する事業に対しその一部を助成することにより、県内一円の環境保全活動の活性化を図る。

○助成要件：環境保全に貢献する事業または県民の環境意識向上に寄与する事業
事業費が5万円超、各市町1件の枠

○助成額：福井市 10万円
その他の市町 5万円

5 こどもエコクラブ活動促進事業 100千円
[前年 100千円]



[内容] こどもエコクラブへの登録を呼びかけるとともに、活動しているクラブへの支援を行い活動の活性化を図る。

○助成内容 壁新聞作成および活動に係る経費の支援
○助成額 1万円/クラブ(10クラブ上限)

6 SATOYAMA国内ネットワーク推進 200千円
[前年 200千円]



[内容] 本県の里山里海湖における生物多様性の保全や利活用の活動を国内のネットワークを通じて県外へアピールする。SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク会員との交流会、情報交換等。

7 プラスチックごみ削減推進事業 300千円
[前年 300千円]



[内容] プラスチックごみ削減に向けた取組事例を促すため、「プラスチックごみ削減フォトキャンペーン」を開催する。

○時期：6月～8月予定(県のマイボトル推進月間と時期を合わせ、啓発効果を高める)
○内容：プラスチックごみ削減につながる場面の写真を投稿してもらい、抽選で景品をプレゼントする。

8 ふくいの環境を守るための資格取得支援事業

250 千円
[前年 250 千円]



[内容] 企業、団体会員が環境保全に関する資格を取得する際の必要経費を補助する。
1 団体につき上限 5 万円

9 カーボンニュートラル普及推進事業

320 千円
[前年 320 千円]



[内容] 協議会主催で会員を始め広く一般を対象にカーボンニュートラルカードゲーム体験会を提供する。また、会員がカードゲームファシリテーター資格を取得する際の費用の 2 分の 1 を補助する。

II 普及広報事業

2,000 千円
[前年 2,650 千円]



1 情報誌発行事業

[内容] 環境問題や環境教育に関する情報、事業者やボランティア団体等が行う環境保全活動などを紹介する情報誌を発行する。
発行回数：1 回（3 月頃）
発行部数：約 2,500 部
配布先：協議会会員、小・中・高等学校、図書館、公民館等

2 ホームページ・SNSによる普及広報

[内容] ホームページや Instagram、X（旧 Twitter）を活用し、お知らせやイベント情報を積極的に発信していく。また、会員の活動動画等を YouTube チャンネル等で発信する。

3 メールマガジンの配信による普及広報

[内容] メールマガジンにより、幅広く環境保全活動情報の提供を行う。
・イベント編 月 1 回（毎月第 2 金曜日）配信
・特に重要度が高い内容（法令改正等）について随時配信

4 「ふくいっ子に体験して欲しい 50 の自然体験」普及広報

[内容] 県・教育委員会と連携し、ふくい子どもたちに体験させたい 50 の自然体験項目についてのガイドブックのさらなる普及を図る。電子化が普及したことにより、データにより配布する。（対象：県内の小学生）

5 各市町環境フェア等における普及広報

[内容] 県内で開催される各市町の環境フェアおよび県内の大学祭にブース等を出展し、環境について県民に考えてもらう機会を提供するとともに、環境ふくい推進協議会の周知を図る。

Ⅲ 県補助事業

1 環境アドバイザー派遣事業

2,356 千円
[1,692 千円]



[内容] 事業者、団体、学校、自治会等が開催する研修会へ講師（環境アドバイザー）を派遣する。より多くの県民に制度を利用してもらうため、同一団体への派遣回数やアドバイザーの複数人派遣等について基準を設ける。

2 リペア・リユース推進事業

55 千円
[249 千円]



[内容] 壊れたものを修理して使う、いらなくなったものをほしい人に譲るなど、修理する文化、リサイクル文化の定着を目指した取組みを実施する。
おもちゃの病院、おもちゃドクター養成講座などを開催。

3 家庭の省エネ（デコ活）推進事業

28,004 千円
[前年 28,004 千円]



[内容] 家庭部門のCO₂排出削減に向けて、省エネ行動に対するポイントの付与や自らの行動によるCO₂削減効果の見える化などを通じ、家庭でできる身近な省エネ活動に楽しく取り組む県民活動の輪を拡げていく。

Ⅳ 環境ふくい未来創造事業

[特別会計] 4,205 千円
[前年 4,921 千円]



[内容] 県民・事業者等から提供された資金により、福井県環境基本計画を推進する活動を行う団体を支援する。

○スタート応援枠

- ・補助対象：1つの事業者が新たな事業を立ち上げる場合。ただし、組織を立ち上げてから5年未満の場合は事業の新旧を問わない。
- ・補助金額：上限20万円/年（1件につき連続3年まで）

○共働活動応援枠

- ・補助対象：2以上の事業者が共働して新たな事業を立ち上げる場合
- ・補助金額：上限50万円/年（1件につき連続2年まで）

V 特別積立基金【新規】

令和10年度以降、環境フェア開催等のための積立を行う。

VI 会議等

下記のとおり会議を開催する。

- 1 総会
日時：令和8年4月20日（月）
内容：令和7年度事業報告および収支決算報告について
令和8年度事業計画（案）および収支予算（案）について
- 2 企画委員会（4回程度開催）
- 3 育成支援部会（2回程度開催）

令和8年度 一般会計収支予算(案)

収入の部

(単位：円)

| 項目 | 令和8年度予算額 | 令和7年度予算額 | 増減 |
|-----------|------------|------------|-------------|
| 会費 | 1,900,000 | 1,900,000 | 0 |
| (1) 個人会費 | 300,000 | 300,000 | 0 |
| (2) 事業者会費 | 1,600,000 | 1,600,000 | 0 |
| 負担金 | 3,400,000 | 3,400,000 | 0 |
| (1) 県 | 2,000,000 | 2,000,000 | 0 |
| (2) 市町 | 1,400,000 | 1,400,000 | 0 |
| 寄附金 | 0 | 0 | 0 |
| 諸収入 | 0 | 0 | 0 |
| 繰越金 | 2,362,172 | 1,663,036 | 699,136 |
| 補助金 | 30,615,000 | 36,266,000 | △ 5,651,000 |
| 計 | 38,277,172 | 43,229,036 | △ 4,951,864 |

支出の部

(単位：円)

| 項目 | 令和8年度予算額 | 令和7年度予算額 | 増減 |
|--------------------------|------------|------------|-------------|
| 運営費 | 700,000 | 700,000 | 0 |
| (1) 総会費 | 300,000 | 300,000 | 0 |
| (2) 諸会議費 | 150,000 | 150,000 | 0 |
| (3) 事務費 | 250,000 | 250,000 | 0 |
| 事業費 | 36,755,000 | 42,466,000 | △ 5,711,000 |
| I 環境保全活動促進協働事業費 | 4,340,000 | 3,550,000 | 790,000 |
| (1) 協議会会長表彰 | 200,000 | 200,000 | 0 |
| (2) 環境セミナー等開催事業 | 1,470,000 | 880,000 | 590,000 |
| (3) 指導者向けスキルアップ講座開催事業 | 600,000 | 0 | 600,000 |
| (4) 市町環境連携事業 | 900,000 | 900,000 | 0 |
| (5) こどもエコクラブ活動促進事業 | 100,000 | 100,000 | 0 |
| (6) SATOYAMA国内ネットワーク推進 | 200,000 | 200,000 | 0 |
| (7) 環境教育推進事業 | 0 | 400,000 | △ 400,000 |
| (8) プラスチックごみ削減事業 | 300,000 | 300,000 | 0 |
| (9) ふくいの環境を守るための資格取得支援事業 | 250,000 | 250,000 | 0 |
| (10) カーボンニュートラル普及推進事業 | 320,000 | 320,000 | 0 |
| II 普及広報費 | 2,000,000 | 2,520,000 | △ 520,000 |
| III 県補助事業 | 30,415,000 | 36,396,000 | △ 5,981,000 |
| (1) 環境アドバイザー派遣事業 | 2,356,000 | 1,822,000 | 534,000 |
| (2) リペア・リユース推進事業 | 55,000 | 249,000 | △ 194,000 |
| (3) 家庭の省エネ推進事業 | 28,004,000 | 28,004,000 | 0 |
| (4) ふるさと環境フェア開催事業 | 0 | 6,321,000 | △ 6,321,000 |
| 繰出金(特別積立基金へ) | 800,000 | 0 | 800,000 |
| 予備費 | 22,172 | 63,036 | △ 40,864 |
| 計 | 38,277,172 | 43,229,036 | △ 4,951,864 |

令和8年度 特別会計収支予算（案）

1 環境ふくい未来創造事業特別会計

収入の部

（単位：円）

| 項目 | 令和8年度予算額 | 令和7年度予算額 | 増減 | 摘要 |
|-----|-----------|-----------|-----------|----|
| 寄附金 | 100,000 | 250,000 | △ 150,000 | |
| 繰越金 | 4,118,953 | 4,671,069 | △ 552,116 | |
| 諸収入 | 500 | 500 | 0 | |
| 計 | 4,219,453 | 4,921,569 | △ 702,116 | |

支出の部

（単位：円）

| 項目 | 令和8年度予算額 | 令和7年度予算額 | 増減 | 摘要 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|----|
| 環境ふくい未来創造事業 | 4,000,000 | 4,500,000 | △ 500,000 | |
| 予備費 | 219,453 | 421,569 | △ 202,116 | |
| 計 | 4,219,453 | 4,921,569 | △ 702,116 | |

2 特別積立基金

収入の部

（単位：円）

| 項目 | 令和8年度予算額 | 令和7年度予算額 | 増減 | 摘要 |
|--------|----------|----------|---------|----|
| 特別積立基金 | 800,000 | 0 | 800,000 | |
| 繰越金 | 0 | 0 | 0 | |
| 諸収入 | 0 | 0 | 0 | |
| 計 | 800,000 | 0 | 800,000 | |

支出の部

（単位：円）

| 項目 | 令和8年度予算額 | 令和7年度予算額 | 増減 | 摘要 |
|----|----------|----------|----|----|
| - | 0 | 0 | 0 | |
| 計 | 0 | 0 | 0 | |